

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(市町総括表)
【単独】・連携事業

市町名	那須塩原市
-----	-------

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	なすしおばらマルシェ	総事業費	1,120,000	1,120,000	1,120,000	1,000,000	1,000,000	5,360,000
		うち市町支出額	792,000	594,000	396,000	0	0	1,782,000
		うち県交付金	396,000	297,000	198,000	0	0	891,000
2	まだまだ元気「60歳からのともだちづくり」の集い	総事業費	132,000	132,000	132,000	132,000	132,000	660,000
		うち市町支出額	88,000	66,000	44,000	0	0	198,000
		うち県交付金	44,000	33,000	22,000	0	0	99,000
3	三島コミュニティ「防災研修会」	総事業費	120,000	120,000	120,000	50,000	50,000	460,000
		うち市町支出額	96,000	72,000	48,000	0	0	216,000
		うち県交付金	48,000	36,000	24,000	0	0	108,000
4	南地区の環境を子どもたちと考える事業「ゴーヤ緑のカーテン&遊べ!の森づくり・クワガタ教室」	総事業費	353,000	353,000	300,000	300,000	300,000	1,606,000
		うち市町支出額	195,000	130,000	0	0	0	325,000
		うち県交付金	97,500	65,000	0	0	0	162,500
5	那須塩原グーフェス	総事業費	495,000	495,000	495,000	495,000	495,000	2,475,000
		うち市町支出額	165,000	110,000	0	0	0	275,000
		うち県交付金	82,500	55,000	0	0	0	137,500
6	田んぼアート制作事業	総事業費	659,000	659,000	650,000	650,000	650,000	3,268,000
		うち市町支出額	305,400	203,600	0	0	0	509,000
		うち県交付金	152,700	101,800	0	0	0	254,500
7	家族で農業・食育体験事業	総事業費	1,126,000	1,126,000	1,126,000	1,000,000	1,000,000	5,378,000
		うち市町支出額	731,200	548,400	365,600	0	0	1,645,200
		うち県交付金	365,600	274,200	182,800	0	0	822,600
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	4,005,000	4,005,000	3,943,000	3,627,000	3,627,000	19,207,000
		うち市町支出額	2,372,600	1,724,000	853,600	0	0	4,950,200
		うち県交付金	1,186,300	862,000	426,800	0	0	2,475,100

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	なすしおばらマルシェ
事業主体の名称	まちづくり委員会
代表者の名称	室越 礼一
事業主体の所在	〒329-3146 那須塩原市中中野913
事業主体の概要	<p>・団体の目的:「まちづくりは人づくり」の指針のもと、地域活性化のイベントや各種勉強会を通して人材育成を図り、地域に貢献する。</p> <p>・設立年月日:平成16年10月1日</p> <p>・設立経緯:平成17年1月1日の3市町合併に当たり、那須塩原駅周辺(東那須野地区)の活性化を目指して設立された。</p> <p>・構成員等:市内東那須野地区 商工業関係者、地域住民 20人</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>今までは、地域内の農観商工に関わる方がそれぞれ独自に勉強会や単発イベントを実施してきたが、効果が限定的であった。そのため、農観商工それぞれの分野における人材を育成することを目的に、「なすしおばらフェスタ」を開催して、地域産業活性化を図ってきた。しかし、新たな地域産業や、就業者の増加につながっていないため、いかにして分野を超えた異業種交流・連携を進めていくかが課題である。</p>
事業目的	<p>多くの観光客等が行き交う那須塩原駅前でマルシェを開催し、農観商工が同時に交流する場、市民、観光客等とも直接つながる場を創出することにより、相互のネットワークを構築するとともに、新しい発想を生み出し、産業の活性化を図ることを目的とする。さらに、新たな発想から生み出された事業(仕事)により、就業の場を創出することを目指す。</p>
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <p>■なすしおばらマルシェの開催</p> <p>・内容:那須塩原駅西口広場にてマルシェを開催する。那須塩原産の野菜やお米の販売、塩原温泉、板室温泉のPR、地元野菜を使用した飲食店の出店、那須塩原市のPRを行う。農観商工の出店者が連携できるようにするため、開催前の出店者会議を実施する他、SNSを利用しグループを構築する。またワークショップを実施し、意見交換を行う。</p> <p>・開催時期:他のイベントとの重複が少なく、集客が見込める6月に実施する。</p> <p>《観光誘客のための情報発信》</p> <p>・ポスター、チラシの作成:ポスター500部を作成し、公共施設や案内所等に設置・配布。チラシ25,000枚を作成し、新聞折り込みする。</p> <p>【平成29年度以降】</p> <p>前年度の実施結果を評価分析し、継続してマルシェを開催する(年2回)。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】①未来を創る地域産業の活性化のために</p> <p>【重点施策】「Koyou(雇用)」新規就農者、創業者への支援、「Kouryu(交流)」市全体で魅力ある観光地づくりに寄与する。</p> <p>【目標指標】就業者数 59,140人(平成22年度)⇒60,000人(平成31年度)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	なすしおばらマルシェの開催	なすしおばらマルシェの開催(年2回開催)	なすしおばらマルシェの開催(年2回開催)		なすしおばらマルシェの開催(年2回開催)
事業費	1,120,000	1,120,000	1,120,000	3,360,000	1,000,000
市町支出金(ソフト事業分)	792,000	594,000	396,000	1,782,000	0
うち県交付金	396,000	297,000	198,000	891,000	
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	328,000	526,000	724,000	1,578,000	1,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須塩原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	なすしおばらマルシェ	
対象年度	28	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	792,000	
自己資金	288,000	会負担(企業協賛)
出店者負担金	40,000	出店者負担金 2,000円×20店舗
計	1,120,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	50,000	40,000	20,000	10,000	ゴミ袋、テーブルクロス等
燃料費	30,000	24,000	12,000	6,000	発電機燃料代
食糧費	50,000	0	0	50,000	会議時弁当代
印刷製本費	400,000	320,000	160,000	80,000	ポスター、チラシ
通信運搬費	20,000	16,000	8,000	4,000	切手代
保険料	20,000	16,000	8,000	4,000	損害保険
賃借料	510,000	376,000	188,000	134,000	テント、テーブル、音響等
備品購入費	30,000	0	0	30,000	電線
予備費	10,000	0	0	10,000	
				0	
計	1,120,000	792,000	396,000	328,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	まだまだ元気「60歳からのともだちづくり」の集い
事業主体の名称	NPO法人三区町地域資源・環境保全会
代表者の名称	佐々木 賢
事業主体の所在	〒329-2745 那須塩原市三区町658-11
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 広く住民に対して、農林部を中心とした農地・農業用水などの資源や、豊かな自然と、それらが織り成す美しい景観の保全に関する事業、農林部と都市部との交流と共生を目的とした事業などを行うことにより、豊かで明るい地域づくりに寄与する。 ・設立年月日: 平成24年1月25日 ・構成員等: 地区住民 116名
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・三区町地区は、約35年前からの急激な振興住宅増加の反動として、地区の人口に占める60歳以上の比率が平成26年度には25%(約620人)となっている。今後、平成29年度には30%(約750人)、平成34年度には35%(約870人)と、高齢化が急速に進むと推測されている。 ・コミュニティの機能を維持し、活気を取り戻すためには、地域住民同士の交流を促進し、新規移住者を増やす取組が急務であり、魅力あるまちづくりを通して、三区町への愛着の醸成や地域資源の再発見と生きがいづくり活動を積極的に展開することが必要である。
事業目的	<p>地域の高齢者が、地域の歴史・魅力を再発見しながら、「ともだちづくり」をしていくことで、地域活動へ参加するきっかけをつくり、お互いに助け合う心を育成していくとともに、安心して暮らせ、移住先として選ばれる地域をつくりあげていく基盤をつくる。さらに、この活動を展開し、新たな転入者が増えていくことにより、既存の住民の「住み続けたい」という気持ちを高め、転出者の抑制を図る。</p>
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ まだまだ元気「60歳からのともだちづくり」の集いの開催 開催時期: 9月11日(予定) 参加人数: 150人(見込) ① 軽音楽・フラダンス等の余興を通し、身体を使うことにより健康維持に役立てる。 ② 生きがいづくりの講話の実施により、有意義な人生への活動を支援する。 ③ お話タイムによる参加者同士の積極的な交流により、仲間づくりを実践することで、地域の活性化を図る。 ④ 高齢者の生活状況アンケートを実施し、より具体的な支援策を探ることで、充実した人生設計に係わる。 ⑤ 地産地消と消費拡大を図るために地元産のお米や野菜のPRを実施し、魅力ある地域の再確認と積極的な発信を行う。 ⑥ 社会福祉協議会及び地域包括支援センターの役割等の説明会を開催することで、身近な組織の存在が確認でき、地域内での安心感を育む。 <p>《情報発信》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集いの開催にあたり、市HPや自治会だより、広報等で参加を呼びかける。 ・実施結果を、市HP、広報に掲載し、参加者同士の交流のきっかけをつくる。 <p>【平成29年度以降】</p> <p>前年度実施内容の評価を踏まえ、対象者を近隣7自治会に拡大して実施することで、住民同士の交流をさらなる活性化を促し、地域の活性化を図る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】③未来に集う人々の活発な交流のために</p> <p>【目標指標】定住促進計画期間において、市への転入者数が転出者数を上回ることを重点施策である「Kouryu(交流)」地域コミュニティの活性化に寄与する。</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	まだまだ元気「60歳からのともだちづくり」の集いの開催	まだまだ元気「60歳からのともだちづくり」の集いの開催	まだまだ元気「60歳からのともだちづくり」の集いの開催		まだまだ元気「60歳からのともだちづくり」の集いの開催
事業費	132,000	132,000	132,000	396,000	132,000
市町支出金 (ソフト事業分)	88,000	66,000	44,000	198,000	0
うち県交付金	44,000	33,000	22,000	99,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	44,000	66,000	88,000	198,000	132,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須塩原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	まだまだ元気「60歳からのともだちづくり」の集い	
対象年度	28	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
那須塩原市補助金	88,000	
自己資金	44,000	会費(個人1,000円×102人、団体2,000円×14人)のうち
計	132,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	40,000	32,000	16,000	8,000	出演者、講師謝礼
消耗品費	68,000	54,400	27,200	13,600	用紙、食材料
保険料	2,000	1,600	800	400	傷害保険
食糧費	22,000	0	0	22,000	飲み物、お茶菓子
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	132,000	88,000	44,000	44,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	三島コミュニティ「防災研修会」
事業主体の名称	三島地区コミュニティ運営委員会
代表者の名称	千本木 武則
事業主体の所在	〒 329-2751 那須塩原市東三島6丁目337
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:住民の自主的参加をもとに、住み良い地域づくりに資することを目的に、文化教育部、福祉部、まちづくり部、まつり部、広報部の事業部が中心となり、各種事業を実施している。 ・設立年月日:昭和61年4月29日 ・構成員等:地区住民 11,892人
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>三島地区は、市内でも人口の多い地区であり、本市人口の10%超の約12,000人が生活している。そこで、三島地区コミュニティでは、平成23年の東日本大震災を契機として、自主防災事業の研修会の実施や石巻市仮設住宅住民との交流事業などを展開している。その結果、少し震度の大きい地震が発生した際には隣近所で声をかけあうようになるなど、自主防災の意識が高まってきた。</p> <p>しかし、今後高齢化も進むにつれ、年代を超えての自主防災活動の維持が難しくなることが懸念されており、いかにして地域を支えるための年代の枠に捉われないリーダーの育成が課題となっている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・災害を「自分ごと」ととらえてもらい、災害発生時には自ら迅速に対応できるようにする。 ・災害発生時に隣近所助け合えるようにするなど、防災意識の向上を図る。 ・防災意識の高い地区として、情報を発信することで、市民の満足度を向上させる。
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「防災研修会」の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 平成28年8～9月(防災の日を中心とした日程) ・場 所 三島公民館 ・対 象 三島地区コミュニティ委員、自治会防災及び福祉担当者、住民 ・内 容 平成26年11月に震度6弱の大地震を経験した長野県白馬村の当時の自治会長、自治体職員を講師に招き、住宅全半壊などの甚大な被害が発生したに関わらず、一人の犠牲者も出さなかった自治会の防災活動を学ぶ。さらに、白馬村職員からは、村全体の被害状況や初動対応、復旧状況などについての説明を聞く。 《情報発信》 <ul style="list-style-type: none"> ・研修会開催にあたり、市HPでの周知やコミュニティだよりで参加を呼びかける。 ・実施結果を市HP等で発信することで、地区外にも防災の意識向上の重要性、地区の住民の意識の高さをアピールする。 <p>【平成29年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前年度の実施結果の効果等を検証、分析し、「研修会」を実施する。 ○ 参加した住民が、まだ参加していない住民へ教える「勉強会」を開催し、自主的な取組を目指す。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】④未来を守る災害対応力の強化のために</p> <p>【目標指標】災害に対する備えの強化と生活安全確保に対する市民満足度 基準値(平成22年度)59点 ⇒ 目標値(平成31年度)65点以上 重点施策である「Kurashi(暮らし)」安心・安全な生活環境の確保に寄与する。</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	防災研修会の開催	防災研修会の開催	防災研修会の開催		防災勉強会の開催
事業費	120,000	120,000	120,000	360,000	50,000
市町支出金 (ソフト事業分)	96,000	72,000	48,000	216,000	0
うち県交付金	48,000	36,000	24,000	108,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	24,000	48,000	72,000	144,000	50,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須塩原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	三島コミュニティ「防災研修会」	
対象年度	28	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
那須塩原市補助金	96,000	
自己資金	24,000	会費(200円×3,148戸)のうち
計	120,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	100,000	80,000	40,000	20,000	講師謝礼
消耗品費	15,000	12,000	6,000	3,000	用紙等
通信運搬費	5,000	4,000	2,000	1,000	切手代
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	120,000	96,000	48,000	24,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	那須塩原市
事 業 名	南地区の環境を子どもたちと考える事業「ゴーヤ緑のカーテン&遊べ!の森づくり・クワガタ教室」
事業主体の名称	南地区コミュニティ推進協議会
代表者の名称	豊住 昌隆
事業主体の所在	〒329-2733 那須塩原市二区町401
事業主体の概要	・団体の目的:南地区内において、住民相互の連帯感と文化の向上を図り、明るいまちづくりを行うことを目的とする。 体育文化部・女性部・福祉部・地域振興部を組織して住民の意思が反映された事業を展開している。 ・設立年月日:昭和59年2月1日 ・構成員等:地区住民等 6,779人
当該事業に係る地域の現状と課題	現代の地域内の関係性の希薄化等により、子ども達を取り巻く環境は大きく変化しており、自然や生き物とふれ合う機会が少なくなっているのが現状である。また、地球温暖化が進行する中、その対策は急務であるとともに、将来を担う子ども達に対する環境教育が求められている。そのため、地域の子どもは地域で見守り・育てるといった関わりを持つことが大切である。
事業目的	子どもたちが、自然の中で生物の生態を体験して学び、ゴーヤカーテンの設置により、自らの野菜づくりから料理まで行うことを通じて、環境、生命の大切さを学び、健やかに成長することを目的とする。 また、子どもに関わる施策を促進し、住民の満足度を向上させ、さらに市内外に発信することで、既住民に住み続けたいという気持ちが高めるとともに地域に移住する子育て世代を増やす。
事業概要	【平成28年度】 ①ゴーヤ緑のカーテンづくり……南小学校の子どもたちとゴーヤカーテンを設置する。 ・種蒔き 4月 ・苗植え 5月 ・観察 7~10月 ・収穫 10月 ②遊べ!の森づくり・クワガタ教室……子どもたちと昆虫、幼虫の放虫、飼育、観察を行い、自然の中での生態系を学ぶ。 ・孵化状態観察 5月 ・昆虫放虫、巣箱付け 7月 ・昆虫生態調査 6~9月 ・昆虫観察会 11月、2月 ③地元産野菜を使った子どもカレーづくり教室……地元産の野菜を使ったカレーづくりを実施する。 ・地産地消カレーづくり 7月 《情報発信》 ・事業の実施にあたり、市HPや公共施設へのチラシ設置等で参加を呼びかける。 ・実施結果を市HP等に掲載し、子育て環境の良さをPRする。 【平成29年度以降】 実績からの評価を踏まえ、①~③の事業を参加者が拡大するよう実施し、仲間たちとの貴重な体験を通して、子どもの健やかな成長を後押しする。
事業に係る市町総合戦略の目標及びPKI	【基本目標】①未来を拓く子どもたちの健やかな成長のために ②未来に集う人々の活発な交流のために 【目標指標】①児童福祉の充実に対する市民満足度 基準値(平成22年度)48点 → 目標値(平成31年度)60点以上 ②定住促進計画期間において、市への転入者数が転出者数を上回ること 重点施策である「Kyouiku(教育)」体験教育の充実及び「Kouryu(交流)」地域コミュニティの活性化に寄与する。

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①ゴーヤの緑のカーテンづくり ②遊べ!の森づくり・クワガタ教室 ③地元産野菜を使った子どもカレーづくり	①ゴーヤの緑のカーテンづくり ②遊べ!の森づくり・クワガタ教室 ③地元産野菜を使った子どもカレーづくり	①ゴーヤの緑のカーテンづくり ②遊べ!の森づくり・クワガタ教室 ③地元産野菜を使った子どもカレーづくり		①ゴーヤの緑のカーテンづくり ②遊べ!の森づくり・クワガタ教室 ③地元産野菜を使った子どもカレーづくり
事業費	353,000	353,000	300,000	1,006,000	300,000
市町支出金 (ソフト事業分)	195,000	130,000	0	325,000	0
うち県交付金	97,500	65,000	0	162,500	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	158,000	223,000	300,000	681,000	300,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須塩原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	南地区の環境を子どもたちと考える事業 「ゴーヤ緑のカーテン&遊べ!の森づくり・クワガタ教室」	
対象年度	28	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
那須塩原市補助金	195,000	
自己資金	158,000	コミュニティ負担金
計	353,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	30,000	18,000	9,000	12,000	講師謝礼
消耗品費	180,000	108,000	54,000	72,000	クワガタ、肥料、軍手、食材、 飼育資材等
印刷製本費	60,000	36,000	18,000	24,000	啓発パンフレット
通信運搬費	30,000	18,000	9,000	12,000	切手代
保険料	25,000	15,000	7,500	10,000	損害保険
食糧費	28,000	0	0	28,000	飲み物代
				0	
				0	
				0	
				0	
計	353,000	195,000	97,500	158,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	那須塩原 グーフェス
事業主体の名称	NNC那須ナチュラルチーズ研究会
代表者の名称	落合 一彦
事業主体の所在	〒325-0052 那須塩原市中央町5-3
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 地元の新鮮かつ高品質な生乳を原料としたナチュラルチーズの普及拡大を図るため、チーズづくり技術の普及定着とチーズ食推進に関する情報交換や研修会等の企画を行う。 ・設立年月日: 平成24年9月26日 ・構成員等: 22人
当該事業に係る地域の現状と課題	市の生乳生産量は本州一であるが、その事実を知らない市民も少なくなく、せっかくの地元産の新鮮で栄養価の高い農産物を家庭料理に取り入れていない家庭が多く存在していると予測できる。こうした状況のもと、本会では、市民や子ども達に地元の特産品や食文化について伝える機会を増やそうと、地元でとれた生乳を原料としたチーズを通じた食育に取り組むことが必要と考えるが、いかにして市内外に地元の農産物の魅力を伝え、市内で子育てをすることの良さを伝えていけるかが課題である。
事業目的	那須塩原市の特産物であるチーズ、牛乳を地元への愛着を持つ市民に対して積極的なPRを図り、親子で正しい知識や食べ方、栄養、健康法など学ぶとともに地産地消を推進することで、市の魅力の再発見と再確認を促し、住んでよかった・ずっと住みたいという意思を持ち続けさせる。
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <p>○ 那須塩原グーフェス2016の開催 チーズごはんの提供、チーズ食講話、牛乳で乾杯、親子チーズ作り体験会、親子バター作り体験会 ・日時 平成28年10月2日(日) 10:00~15:00 ・場所 いきいふれあいセンター ・対象 市民(特に親子) ・内容 1.2m勢子鍋チーズごはん・ミネストローネの提供、有名シェフによるチーズ食講話、牛乳で乾杯、親子チーズづくり体験、親子バターづくり体験</p> <p>《情報発信》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施にあたり、市HPや広報、市内各所でのポスター掲示とチラシの配布により参加を呼びかける。 ・実施結果を市HP、広報等に掲載し、子育て環境の良さをPRする。 <p>【平成29年度以降】</p> <p>○ 那須塩原グーフェスの開催 検証・分析を踏まえ、市内外に広く交流できるよう対象者を拡大し、市の魅力を積極的にPRする。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】①未来を拓く子どもたちの健やかな成長のために</p> <p>【目標指標】児童福祉の充実に対する市民満足度 基準値(平成22年度)48点 ⇒ 目標値(平成31年度)60点以上 重点施策「Kosodate(子育て)」子育て親子の交流促進及び「Kyouiku(教育)体験教育の充実」に寄与する。</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	那須塩原グーフェスの開催	那須塩原グーフェスの開催			那須塩原グーフェスの開催
事業費	495,000	495,000	0	990,000	495,000
市町支出金 (ソフト事業分)	165,000	110,000	0	275,000	0
うち県交付金	82,500	55,000	0	137,500	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	330,000	385,000	0	715,000	495,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須塩原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	那須塩原グーフェス	
対象年度	28	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
那須塩原市補助金	165,000	
自己資金	120,000	会費
販売売上	210,000	チーズごはんセット300食×500円
		チーズごはん 100食×400円
		チーズおにぎり 100食×200円
計	495,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	100,000	30,000	15,000	70,000	講師謝礼
消耗品費	200,000	54,000	27,000	146,000	食材料、紙皿、ゴミ袋等
印刷製本費	100,000	30,000	15,000	70,000	チラシ
保険料	10,000	6,000	3,000	4,000	損害保険
委託料	30,000	18,000	9,000	12,000	司会
使用料及び賃借料	45,000	27,000	13,500	18,000	会場使用料
食糧費	10,000	0	0	10,000	スタッフ用昼食
				0	
				0	
				0	
計	495,000	165,000	82,500	330,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	田んぼアート制作事業
事業主体の名称	アグリパル塩原会「田んぼアート制作実行委員会」
代表者の名称	君島 圭一
事業主体の所在	〒329-2801 那須塩原市関谷442
事業主体の概要	<p>・団体の目的:市地域資源総合管理施設「アグリパル塩原」の指定管理者として管理運営を行い、塩原地区の農業、農村の振興を促進することで、地域の活性化に寄与するとともに、会員相互の親睦の増進を図る。また、道の駅「湯の香しおばら」の駐車場及び芝生管理業務も請け負っている。</p> <p>・設立年月日:平成19年4月19日(実行委員会平成26年9月1日)</p> <p>・構成員等:167人(主に塩原地区の農業経営者)</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>観光客を呼び込むために「さなぶりまつり」や「ジャガイモ掘り体験」などのイベントを実施してきたが、観光客数が原発事故発生前後で約15%落ち込んでいる。そこで、H27から田んぼアートを野外の美術館として発信し、観光客の入込数の増加に取り組んできた。しかし、依然として誘客の回復にはつながらないため、会員以外にも参加を呼びかけて地域が盛り上がるよう地域住民の一体感の醸成が必要である。</p>
事業目的	<p>市民等が参加して田んぼアートを作成することにより、観光客の入込数を増加させることで地域の活性化を図るとともに、田んぼの持つ環境への役割や米の大切さを知ってもらうことを目的とする。さらに、田んぼアートを制作することにより、住民同士のつながりや目標が明確になり、地域の一体感による地区の賑わいが生まれ、地域を離れる人を減らし、地域にやってくる人を増やす。</p>
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <p>①田植え体験事業 5月 ②観覧所設置・自由観賞 5~9月 ③田んぼアート観賞会 7月 ④稲刈り体験事業 10月 ⑤田んぼアートの維持管理 通年</p> <p>《情報発信》</p> <p>・アグリパル塩原でのチラシの配布やポスターを掲示するとともにホームページでの情報提供など、積極的な発信を実行する。</p> <p>・実施結果を、市HPや広報等に掲載し、住民同士のつながりを生むきっかけをつくる。</p> <p>【平成29年度以降】</p> <p>①~⑤を継続し、検証・分析を踏まえ、田んぼの魅力を積極的にPRしながら、観光客の入込数の増加を目指す。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】③未来に集う人々の活発な交流のために</p> <p>【目標指標】定住促進計画期間において、市への転入者数が転出者数を上回ること</p> <p>重点施策「Kouryu(交流)」市全体で魅力ある観光地づくりに寄与する。</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①田植え体験事業 ②観覧所設置・自由観賞 ③田んぼアート観賞会 ④稲刈り体験事業 ⑤田んぼアートの維持管理	①田植え体験事業 ②観覧所設置・自由観賞 ③田んぼアート観賞会 ④稲刈り体験事業 ⑤田んぼアートの維持管理	①田植え体験事業 ②観覧所設置・自由観賞 ③田んぼアート観賞会 ④稲刈り体験事業 ⑤田んぼアートの維持管理		①田植え体験事業 ②観覧所設置・自由観賞 ③田んぼアート観賞会 ④稲刈り体験事業 ⑤田んぼアートの維持管理
事業費	659,000	659,000	650,000	1,968,000	650,000
市町支出金 (ソフト事業分)	305,400	203,600	0	509,000	0
うち県交付金	152,700	101,800	0	254,500	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	353,600	455,400	650,000	1,459,000	650,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
連絡先 FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須塩原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	田んぼアート制作事業	
対象年度	28	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
那須塩原市補助金	305,400	
自己資金	253,600	会費
参加者負担金	100,000	田植え・稲刈り体験参加料 1,000円×100人
計	659,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	120,000	72,000	36,000	48,000	看板、軍手、ロープ、食材 単管、クランプ等
燃料費	5,000	3,000	1,500	2,000	草刈り機用燃料代
印刷製本費	74,000	44,400	22,200	29,600	ポスター、チラシ
保険料	20,000	12,000	6,000	8,000	損害保険
委託料	50,000	30,000	15,000	20,000	遠近法測量図作成委託
使用料及び賃借料	340,000	144,000	72,000	196,000	水田借り上げ、イベント会場 運営
報償費	50,000	0	0	50,000	会員手当
				0	
				0	
				0	
計	659,000	305,400	152,700	353,600	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	家族で農業・食育体験事業
事業主体の名称	ふるさとにしなす産直会
代表者の名称	金田 文男
事業主体の所在	〒329-2745 那須塩原市三区町656-2
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:農家と非農家の混在地区であることを強みとして、地区内非農家や一般消費者に対して地場産野菜を直接販売したり、地産地消の推進により「安全・安心・地元産」を積極的にPRすることで地域の活性化を図る。 ・設立年月日:平成8年11月22日 ・構成員等:地区農家等 162人
当該事業に係る地域の現状と課題	地域の伝統行事や、地域で採れる野菜などの農作物がどのように育つか分からない世代が多い。これは、人口の流失などにより、子ども達に地域の伝統芸能や食の文化について伝える機会が少ないことに起因していると考えられる。そのため、農業体験を通じた食育を推進することが大切であり、そのことを市内外へPRすることで市の魅力の発信につながることから、交流をきっかけとした定住化へのさらなる呼びかけが重要となる。
事業目的	家族で農業の体験を通じて食糧の大切さや作物の成長を学び、自分たちで育てた農作物を調理して食育を行う。また、地元で採れる作物について子どもたちが学ぶ機会を設け、地産地消の重要性を理解してもらうことにより、子育て世代に市内の育児環境の良さを認識し、評価してもらう。
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <p>①地元農家での農業体験……ミニトマト、きゅうり、なす、オクラ、とうもろこし、米、そば、さつまいも、大根、トルコキキョウ等の種蒔き、収穫、脱穀等の農業体験を実施する。</p> <p>②収穫した農作物の調理体験……収穫したそばの粉ひき体験、そば打ち、そばゆで等を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 ①6月18日(土)、8月7日(日)、9月17日(土)、12月11日(日) ②11月6日(日) ・対 象 市民及び市外の方 ・移動手段 効率的な農業体験及び危険防止のために、バスで案内する。 <p>《情報発信》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施にあたり、市HPや市内各所でのポスター掲示とチラシの配布により参加を呼びかける。 ・実施結果を市HP、広報等に掲載し、子育て環境の良さをPRする。 <p>【平成29年度以降】</p> <p>①、②を継続し、検証・分析を踏まえ、農業体験を通じた市の魅力を積極的にPRしながら、体験者数の増加を目指すことで、交流人口と定住者の確保を図る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】①未来を拓く子どもたちの健やかな成長のために</p> <p>【目標指標】児童福祉の充実に対する市民満足度 基準値(平成22年度)48点 ⇒ 目標値(平成31年度)60点以上 重点施策【Kosodate(子育て)】子育て親子の交流促進及び「Kouiku(教育)体験教育の充実」に寄与する。</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①農業体験 ②収穫した農作物の調理体験	①農業体験 ②収穫した農作物の調理体験	①農業体験 ②収穫した農作物の調理体験		①農業体験 ②収穫した農作物の調理体験
事業費	1,126,000	1,126,000	1,126,000	3,378,000	1,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	731,200	548,400	365,600	1,645,200	0
うち県交付金	365,600	274,200	182,800	822,600	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	394,800	577,600	760,400	1,732,800	1,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
連絡先 FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須塩原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	家族で農業・食育体験事業	
対象年度	28	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
那須塩原市補助金	731,200	
自己資金	294,800	会負担金
参加者負担金	100,000	ミニトマト収穫、オクラ等収穫、稲刈り作業体験等、たくあん大根収穫 500円×4回×40人
		そば打ち体験 1,000円×1回×20人
計	1,126,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	250,000	120,000	60,000	130,000	指導者謝礼
消耗品費	300,000	240,000	120,000	60,000	種苗、肥料等
燃料費	3,000	2,400	1,200	600	草刈り機用燃料代
印刷製本費	125,000	100,000	50,000	25,000	ポスター、チラシ
通信運搬費	16,000	12,800	6,400	3,200	切手代
保険料	50,000	40,000	20,000	10,000	損害保険
委託料	270,000	216,000	108,000	54,000	大型バス借り上げ
食糧費	112,000	0	0	112,000	スタッフ弁当代
				0	
				0	
計	1,126,000	731,200	365,600	394,800	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合